

筑南小学校「うちどく」通信 2024.5月号

つうしん

〔毎月7日はうちどくの日〕



提出数(欠席)/人数	1年 17/17	2年 13(1)/14	3年 16/18
	4年 12/12	5年 18/19	6年 18/24
	全校 94(1)/104		

1年 M・R 『じゅうにしのおはなし』Eう 岩崎書店 読んだ人：R 聞いた人：お母さん

R：ねずみ、うし、とら、うさぎ、たつ、へび、うま、ひつじ、さる、とり、いぬ、いのしし、おもしろかった。

お母さん：十二支のお話は前から気になっていて、今回のうちどくで子どもと一緒に由来を知る事が出来て良かったです。

1年 M・I 『おならをならしたい』Eす 鈴木のりたけ/さく小学館 読んだ人：お母さん 聞いた人：I

I：おならのことがわかっておもしろかったです。

お母さん：はじめての“うちどく”は「おなら」の本でした。おならについてわかりやすく書いてあり「ぼくのおならはこれ」と笑いながら楽しく読みました。読むのがおもしろく何度も読んでいました。

2年 H・E 『ぶらんこ』Eあ 鈴木のりたけ/作 PHP 研究所 読んだ人：E 聞いた人：お母さん

E：ぶらんこがぶつうの空をとんだり、メリーゴーランドになってたのしかったです。

お母さん：ブタとブタみたいなハチが女の子と一緒にぶらんこにのったり、ミツバチと空中に飛び立ち、海やお花畑をブランコで旅する話でとても気持ちよさそうに飛んでいる女の子でした。子どももこんな事が出来たら嬉しいだろうなと思いながら聞いていました。

2年 H・S 『やまたのおろち』Eこ 日本の神話えほん 岩崎書店 読んだ人：お母さん 聞いた人：S

S：「やまたのおろち」ってむかしのおはなしなんだなあとわかりました。

お母さん：日本の神様のお話はとてもおもしろかったです。

3年 N・S 『いのちをいただく』913ウ 内田美智子/文 西日本新聞社 読んだ人：S

聞いた人：お父さん

S：肉やたべもののいのちをたいせつなんだなと思います。

お父さん：私達が簡単に購入できる食材は生産者が命を育て加工し処理されている食材。普段忘れがちな過程と人の思いが沢山詰まっていることを思いださせてくれる絵本。食べ残しをせずに命をいただいて生きる事に感謝し、子供達にも教えていきたいと思いました。

3年 T・Y 『こんなこいるかな⑧ がんばりやのがんがん』Eあ 有賀忍/作 日本図書センター

読んだ人：Y 聞いた人：妹・お母さん

Y：がんばりやのがんがんはがんばっているすがたをみて、すごいな、がんばる子だなと思いました。妹もおもしろかったと言っていてよかったです。

お母さん：はじめはできなくても、なんでも一生懸命に頑張ることのできるようになり、努力することが大切なんだと教えてくれる本でした。妹にもわかりやすかったようで姉妹で楽しく読めていました。

4年 I・I 『インコの手紙』72ア あきばたまみ/作・絵 東京経済界 読んだ人：I 聞いた人：お母さん

I：最初はかわいらしいおもしろいお話だったけれど、インコが亡くなってしまって生き物の寿命が短いのを悲しく思いました。

お母さん：短い文章でとても優しい絵で描かれた1冊です。インコの目線で想い問かけが書かれています。小さい頃に飼っていたインコを思い出しながら読みました。子どもなので可愛がるつもりが乱暴に扱ってしまった事。一緒に楽しく遊んだ事。命が尽きてしまった時、命は永遠ではないと教えてくれました。子ども達も命の大切さを忘れないでほしいです。

4年 H・S 『ながーい5ふん みじかい5ふん』Eす リズ・ガートン・スキャロン/文

光村教育図書 読んだ人：S 聞いた人：お母さん

S：5ふんはみじかいときと、ながいときがあるから、短い5分のは家族との時間を大切にしたいなと思いました。ながい5分とみじかい5分どっちも大切にしたいです。

お母さん：長い5分、短い5分、大人の5分、子どもの5分。5分にも色々な5分があって、私もよく子どもにあと5分待ってと言ってるような気がします。

5年 I・K 『ころべばいいのに』Eよ よしたけしんすけ/作 ブロンズ新社 読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：いやなことがあったらほかの事を考えればいいんだと思った。

お母さん：嫌なことがあっても、考え方だけで楽しい事にできるという事を知れる本でした。

5年 H・K 『星座・天体観察図鑑』44フ 成美堂出版 読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：星座のことがわからなかったけど、この本を読んでわかった。夏の大三角形デネブアルタイルを探してみようと思います。

お母さん：今年の夏はこの本を見ながら一緒に夏の大きな三角形を探したいと思います。

6年 H・S 『チコちゃんに叱られる おとうさんおかあさんといっしょにすごせるじかんは

どれ?』Eえ 海老克哉/文 文溪堂 読んだ人：S 聞いた人：お母さん

S：家族と過ごせる時間を知れて家族をもっと大切にしようと思いました。

お母さん：家族と一緒に過ごせる時間を計算してコップのジュースで例えてある本で歳を重ねる度に親と一緒に過ごす時間が減っていくほどにさみしく感じてしまいます。

どんどん手がかからなくなり、すぐに親元から巣立っていくので、今の時間を大切に、子どもに寄り添いたいと思う本でした。

6年 T・K 『いちにちぶんぼうぐ』Eふ ふくべあきひろ/作 PHP 研究所 読んだ人：K 聞いた人：お母さん

K：何回読んでもおもしろい本だなあと思いました。私はメジャーになった時、口びるにメジャーがはさまって赤くなるところがおもしろかったです。

お母さん：いちにちシリーズたのしいです。主役の男の子がこゆきのお兄ちゃんに似ていてまたまた楽しくなります。私はいちにちコンパスにはなりたくないです。